

## 第4回取手市総合計画審議会 議事録

1. 開催日時：令和5年12月21日（木）午後1時30分～午後2時45分
2. 開催場所：取手市役所 議会棟 大会議室
3. 出席者（◎：会長、○：副会長）

委員：岩澤信、染谷和博、櫻井由子、倉持光男、寺田満、羽原康恵、  
◎大谷基道、岩坂照之、佐竹昭宙、○山崎俊一、金田冬彦

事務局：政策推進部 齋藤部長

政策推進課 高中課長、平野課長補佐、中川係長、長沼

ランドブレイン株式会社1名

傍聴者：1名

欠席委員：1名（関川翔）

### 4. 議事内容

#### （1）主な議論の内容

##### ①「とりで未来創造プラン2024」（案）に係るパブリックコメントの実施結果について

- ・令和5年11月1日から11月30日までの30日間を期間としてパブリックコメントを実施したところ、5人から5件、13項目の意見提出があった。
- ・提出された意見の反映結果としては、意見の趣旨が既に案に盛り込まれているものが4項目、今後の取り組みにおいて参考にするものが7項目、その他（感想・賛否のみなど）が2項目となっている。

委員：以前の議論内でも懸念されていた、政策の番号が優先順位として映って見えるということが、優先順位ではないという記載があるにもかかわらず指摘されていた。デザイン部分等で工夫して、誤解を生じないように配慮した方が良いと思う。

事務局：政策・施策を並べる際には、見やすさのために整理番号を付けるのが望ましいと考えている。政策の考え方を示しているページに6つの政策それぞれが関わり合い、循環していくというコンセプトについて示しているので、そちらで対応していく。

委員：パブリックコメントの意見提出数の少なさから、関心を持っている人が少ないのだと感じた。パブリックコメント実施をPRするのは難しいと思うが、様々な知恵を集結させて市民が関心を持てる手法を考えていただきたい。

会長：他市の状況を見ても、パブリックコメントの意見提出数は低調だと感じる。パブリックコメントにあたっては、どのような周知をしているのか。

事務局：パブリックコメントの周知方法としては、公民館等の公共施設窓口への設置、市HPでの公開、広報でのお知らせ等を行った。総合計画の性質上、理念的な内容となっていることから、市民の方からの関心を集めにくいものの、より多くの人から意見をいただけるよう、PR方法を検討していく。

会長：前回の「とりで未来創造プラン2020」のパブリックコメントの際は意見提出がなかったため、5人から意見提出があったのは一歩前進だと思う。次回のパブリックコメントの際にはさらに意見提出数が増えるように工夫していただきたい。

## ②その他

- ・前回審議会にて示した内容から、市長挨拶、Introduction、資料編のページを追加した。
- ・イントロダクションでは、計画に多様な意見を取り入れるため開催した、とりで未来会議の様子を写真を多く用いて紹介している。
- ・政策2「魅力の創造と発信」内で使用するとりかめくんのイラストについては、市内在住アーティストの傍嶋さんに作成していただいているところ。
- ・以上をもって、計画の最終案としたい。

委員：重点施策12「脱炭素と循環型社会」のまちづくり指標で、ごみのリサイクル率が現状20.4%、目標値31.2%となっている。目標値の中には企業の数値も含まれていると思う。企業においてもごみの排出削減に対して様々な活動をしていると思うが、目標値はどのように設定したのか。

事務局：ごみのリサイクル率について取手市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）に掲げている目標値となっている。そこにおいては、企業も含まれる。まちづくり指標の考え方については、資料編に掲載しているのであ

わせて確認いただきたい。ごみのリサイクル率を上げるためにも、市民や企業の方々に4Rの意義を訴えていくことで、周知徹底をしていく。

委員：地球温暖化ではなく地球沸騰化という言葉も使われるほどの状況になってきている。循環型社会を構築していくことが地球にとっても人にとっても大切な事だと思うので、民間企業等とも協力しながら力を入れて取り組んでいただきたい。

委員：今後の修正作業の中で、どの程度デザインが変更させるのか。政策やグラフの配色等でイメージに合わないと感じる部分があるので、色の選定については検討いただきたい。また、様々な世代の人が総合計画を見ると考えた時に、Introductionは英語表記ではない方が良いのではないか。

事務局：冊子とする際には、デザイン業者と事務局で今後調整していくこととなる。いただいた意見も踏まえながら、デザインについてはブラッシュアップしていく。

委員：複数回の会議を重ねて、知恵を出し合って作成した計画なので、1人でも多くの市民の方に手に取っていただき、目を通してもらえると良いと思う。その上で、パソコン上で見た際に少し字が小さいと感じる。高齢化が進んでいることや、読んでみたくなる冊子とするためにも伝えたい部分については字を大きくする、もしくは太文字にしてはどうか。

事務局：デジタルデータで見ると紙の冊子より読みづらい部分があると思うので、多くの方に見ていただくためにも、文字のサイズや行間等についても検討していく。

副会長：Introductionとして冒頭にてとりで未来会議について紹介していることで、総合計画がどのような過程を経て策定されたのか分かり良いと思う。また、先ほども意見にもあったが、Introductionは英語表記でなくても良いと思う。

会長：Introductionの表記については、再度検討いただきたい。

事務局：本日お示しした内容をもとに、市長決裁を経て、正式に計画内容を確定させ、印刷製本を行い、3月の議会にて報告する予定である。印刷製本された計画の冊子につきましては、出来次第、委員の皆様へ送付する。4回にわたり貴重なご審議を賜り、ありがとうございました。

### ③部長あいさつ（要旨）

部 長：本日まで計4回にわたり熱心なご議論をいただきましてありがとうございます。年度内の計画策定という、タイトなスケジュールの中での審議でありましたが、そのような中で、序論、総論、各論と、それぞれにおいて委員の皆様のご専門的な知見を活かし、様々な角度からのご助言をいただいたことで、計画内容に深みが出たと感じております。今後は、答申を受けまして、内部で最終の計画決定の進め、令和6年度の4月より、この「とりで未来創造プラン2024」のもとで行政運営を進めてまいります。職員内でしっかりと計画内容を共有し、同じ方向を向いて行政運営を進めていきたいと考えますので、今後ともご理解、ご協力をお願いいたします。

### ④答申

- ・会長より、「とりで未来創造プラン2024」（案）についての答申をいただいた。

### ⑤市長あいさつ（要旨）

市 長：これまで大変お忙しいなか、熱心にご議論いただき、本日答申いただきましたことに感謝申し上げます。計画策定の参考とするため、様々な立場の方と「とりで未来会議」を開催したことも報告を受けていますが、私自身も若手職員と意見交換をさせていただいたことで、多様な立場や考え方に触れ、耳を傾けることの重要性を再認識しました。計画は行動に移し、そして結果を出してこそ意味を持つものであると考えます。その期待に応えることができるよう、今後も全力で市政にあたってまいりますので、引き続きよろしくをお願いいたします。

以 上